

施策名：障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進

事業名	担当課・室名	ページ
障がい者差別解消・権利擁護推進事業	障害福祉課	1 / 7
障がい児者歯科診療体制整備事業	健康づくり支援課	2 / 7
障がい者福祉施設整備事業	障害福祉課	3 / 7
重症心身障がい児者在宅支援推進事業	障害福祉課	4 / 7
国際車いすマラソン大会開催事業	障害福祉課	5 / 7
障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	障害福祉課	6 / 7
全国障害者芸術・文化祭開催準備事業	障害福祉課	7 / 7

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	障がい者差別解消・権利擁護推進事業		事業期間	平成28年度～平成31年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	A 継続・見直し		事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	差別や理解不足等により障がい者やその家族が置かれている困難な状況を解消するため、障がいを理由とした差別をなくし、社会的障壁を取り除く取組を一層推進することが求められている。	事業の目的	すべての県民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら安心して心豊かに暮らすことのできる共生社会を実現するため、障がいを理由とする差別の解消や合理的配慮の提供を推進するための体制等を整備する。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①障がい者差別解消・権利擁護推進センターの設置 障がいを理由とする差別に関する相談窓口の設置に係る経費に対する補助	①	4,834	総コスト		16,697	18,398
②合理的配慮推進事業(手話通訳、点字) 県庁各所属に対する手話や点字に関する合理的配慮の提供に要する経費	②	1,478	事業費		6,697	8,398
③普及啓発事業 障害者虐待防止法に基づく虐待防止、権利擁護等の取組	③	1,341	(うち一般財源)		3,322	3,928
④障がい者差別解消調整部会の設置 障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例に基づくあっせん等を行う調整委員会や、障害者差別解消法に基づく障がい者差別解消支援地域協議会の開催経費	④	156	人件費		10,000	10,000
	計	7,809	職員数(人)		1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	評価	
	センターへの相談件数(件) ※件数増加が目的ではないため、目標値未記入		目標値		1,161					62%	虐待防止研修の参加者数(人)		目標値		150			150
		実績値		1,161							実績値		160					
		達成率		100.0%							達成率		106.7%					
県庁内の手話通訳、点字作業 依頼件数(件) ※28年度で終了		目標値		25				19%	障がい者差別解消支援地域協議会の開催回数(回)		目標値		1	1	1	2%		
		実績値		17							実績値		1					
		達成率		68.0%							達成率		100.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果	
	障害者差別解消法に基づく職員対応要領を制定する市町村数(市町村)		目標値		6	10	18		a	障害者差別解消法や県条例の普及啓発により、県内市町村において障がいを理由とする差別の解消に対する取組が推進された。
		実績値		6						
		達成率		100.0%						

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や団体に対する障がい者への理解促進</li> <li>障がい者に対する合理的配慮の提供促進</li> <li>障がい者に対するコミュニケーション支援の不足</li> </ul>	今後の事業方針 ・障がいを理由とする差別の解消に向けて、さらなる普及啓発やコミュニケーション支援を推進				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	障がい児者歯科診療体制整備事業		事業期間	平成26年度～平成28年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
	E			廃止	事業実施課(室)名	健康づくり支援課		施策区分
総合評価	E		E		評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	一部の障がい児者は、歯科診療の際に適応行動がとれず、むし歯や歯周病が放置されていることが多い。また、治療を受けようとしてもどこで治療を受けてよいか分からない状況にある。	事業の目的	障がい児者の口腔内状況を把握し、歯科医師及び歯科衛生士の障がい児者歯科に対する治療の向上を図るとともに、障がい児者施設職員に対する口腔ケア指導等により障がい児者のむし歯予防を推進する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①障がい児者口腔状況把握(健診・指導) 県内の障がい児者施設において、歯科医師、歯科衛生士が歯科健診・歯科保健指導を実施 委託先：(一社)大分県歯科医師会	①	2,900	総コスト	9,214	6,977	
	②	810	事業費	5,214	2,977	
	③	190	(うち一般財源)	1,041	1,069	
	④		人件費	4,000	4,000	
②障がい児者歯科研修会 開催歯科医師、歯科衛生士等を対象とした研修会の開催(2回) (障がい者科診療に必要な絵カードの作成) 委託先：(一社)大分県歯科医師会						
③障がい者歯科連携検討会 障がい者歯科における診療施設連携の検討会の開催(2回)	計	3,900	職員数(人)	0.40	0.40	

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	評価
	障がい児者施設口腔内健診者数(人)	目標値		1,600	2,400			2,400	74%	検討会開催回数(回)	目標値		2		
実績値			1,311	1,995		1,995	実績値				2		2		
達成率			81.9%	83.1%		83.1%	達成率				100.0%		100.0%		
障がい児者歯科研修事業参加者数(人)		目標値		400	600		600	21%	目標値						
		実績値		320	486		486		実績値						
		達成率		80.0%	81.0%		81.0%		達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
対応困難な障がい者を取り扱う高次歯科医療機関数(施設)	目標値		1	2		2	C	平成27年度に先進地視察等障がい者高次歯科医療機関拡充調査を、平成28年度に障がい者高次歯科医療機関設置に向けて大分県歯科医師会と協議検討を行ったことにより、29年度には高次歯科医療機関の設置が実現する見通しとなった。
	実績値		1	1		1		
	達成率		100.0%	50.0%		50.0%		

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診を行っている障がい者福祉施設数の増加</li> <li>障がい児歯科に携わる者の診療技術等の向上</li> <li>障がい者歯科治療における高次医療機関の設置及び連携</li> </ul>	今後の事業方針 ・高次歯科医療機関の整備を推進するとともに、一般開業医との連携体制を構築				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

繰越がある場合用

別紙2-4

事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業期間	昭和43年度～平成 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進			
						施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくため、必要なサービス提供基盤の整備が求められている。	事業の目的	施設整備を行う社会福祉法人等に対して経費の一部を助成することにより、障がい者に対する福祉サービスの充実を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①障がい者福祉施設整備 障がい者福祉施設の施設等整備を行う社会福祉法人等に対する補助 (国1/2、県1/4、実施主体1/4)  ※H27～28完成施設(創設、増築)：計3施設(共同生活援助(グループホーム)3施設)	①	69,384	総コスト	473,551	86,602	186,317
	②		事業費	467,551	80,602	180,317
	③		(うち一般財源)	30,852	8,496	28,239
	④		(うち繰越額)	426,306	16,791	135,531
	計	69,384	人件費	6,000	6,000	6,000
			職員数(人)	0.60	0.60	0.60

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
グループホーム整備数(施設)	目標値		2	1	4		100%	目標値						a	
	実績値		2	1				実績値							
	達成率		100.0%	100.0%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
施設整備数(施設)	目標値		5	1	6		a	障がい者に対する福祉サービス提供基盤の整備が図られた。
	実績値		5	1				
	達成率		100.0%	100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくために必要なサービス提供基盤の整備促進	今後の事業方針 ・障がい者が地域で暮らし働ける環境を充実させるため、今度も引き続き整備を実施				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	重症心身障がい児者在宅支援推進事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
	A			事業実施課(室)名	障害福祉課		施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	継続・見直し				評価者	障害福祉課長 高橋 基典		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医療技術や機器の進歩によって重症心身障がい児者の在宅生活が可能になってきたが、日常的な医療ケアを行う家族の負担が増加している。 また、サービス提供事業所においては重症心身障がい児者の支援経験が少なく、専門性の高い支援スキルが不足している。	事業の目的	重症心身障がい児者とその家族が地域で安心して暮らせる在宅生活の実現のため、圏域ごとにモデル市町村を選定し、市町村自立支援協議会を中心とした地域の主体的な問題解決ができるよう支援するとともに、その実績や成果を全市町村に波及させる。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①相談支援事業所の育成 重症心身障がい児者の特性を踏まえたサービス利用計画を策定できる相談支援事業所を育成するための実地指導の実施 ②市町村自立支援協議会の機能強化(働きかけ) 重症心身障がい児者の支援体制等に関する助言を行うため、協議会に医師を派遣 ③サービス提供事業所の育成 医療的ケア等に対応できるサービス提供事業所や人材を育成するための研修の実施	①	3,403	総コスト		5,119	6,200
	②	1,155	事業費		1,119	2,200
	③	1,003	(うち一般財源)		1,119	2,200
	④		人件費		4,000	4,000
	計		5,561	職員数(人)		0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	相談支援事業所に対する研修開催数(回)	目標値			6	9		6	61%	サービス提供事業所に対する研修開催数(回)	目標値		6		
実績値				6			実績値				5				
達成率				100.0%			達成率				83.3%				
市町村自立支援協議会への参加回数(回)		目標値			6	12	6	21%	目標値						
		実績値			7				実績値						
		達成率			116.7%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
重症心身障がい児者の支援に関する研修受講者数(人)	目標値			240	360	240	a	重症心身障がい児者の支援に携わる事業所を対象にした研修の実施により、地域における重症心身障がい児者への支援の強化が図られた。
	実績値			241				
	達成率			100.4%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>重症心身障がい児者の支援に携わる事業所の育成</li> <li>地域における重症心身障がい児者への理解の促進及び支援の定着</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>重症心身障がい児者への支援の裾野を広げるため、圏域を入れ替えて事業を実施</li> <li>28年度実施圏域については、地域における取組の定着を図るため、事業を継続</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	国際車いすマラソン大会開催事業		事業期間	昭和 56 年度 ~ 平成 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進			
						施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	A		事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	世界最大級の車いすマラソン大会として定着しているが、参加選手数は近年横ばい又は減少傾向にある。	事業の目的	スポーツを通じて障がい者の社会参加を推進するため、国際的なスポーツ大会である「大分国際車いすマラソン大会」を開催する。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①国際車いすマラソン大会の開催 国内外の車いす使用者によるマラソン及びハーフマラソンの実施 (出場選手) 海外選手：14か国44名 国内選手：31都道府県186名  委託先：大分県障がい者体育協会	①	25,000	総コスト	55,000	55,000	55,000
	②		事業費	25,000	25,000	25,000
	③		(うち一般財源)		10,000	10,000
	④		人件費	30,000	30,000	30,000
	計	25,000	職員数(人)	3.00	3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
			目標値	実績値	達成率					目標値	実績値	達成率			
レース実施数(競技)		100.0%	2	2	2		100%			目標値					a
			実績値	2	2					実績値					
			達成率	100.0%	100.0%					達成率					
			目標値							目標値					
			実績値							実績値					
			達成率							達成率					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
参加者数(出場選手数+ボランティア数)(人)		目標値	2,300	2,300	2,300		a	日本国内外の障がい者に対し、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、県民の障がい者についての関心と理解を深めることができた。
		実績値	2,287	2,225				
		達成率	99.4%	96.7%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界トップ選手の出場確保</li> <li>参加選手数の維持</li> <li>第40回記念大会に向けた取組</li> </ul>	今後の事業方針 ・国際大会として定着しており、引き続き開催				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業		事業期間	平成27年度～平成29年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	パラリンピック出場のための各種国際大会に参加する選手の遠征費用は自己負担となっており、経済的負担が大きい状況にある。 また、成人の障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は19.2%であり、成人の一般の実施率40.4%と比較して低い状況にある。	事業の目的	パラリンピック出場を目指す選手の海外遠征費用の助成や地域における障がいスポーツ体験会の実施等により、障がい者スポーツの競技力向上と普及啓発を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①地域における障がい者スポーツ普及促進事業 障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の開催等 委託先：大分県障がい者体育協会 ②障がい者スポーツ特別優秀選手支援事業 パラリンピック出場が期待される優秀選手の海外遠征経費の助成	①	5,000	総コスト	16,128	15,693	16,950
	②	2,450	事業費	6,128	5,693	6,950
	③		(うち一般財源)	1,352	1,193	2,450
	④		人件費	10,000	10,000	10,000
	計		7,450	職員数(人)	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価割合	評価
	障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会等の実施回数(回)	目標値		43	100	100		100	67%	目標値					
実績値			60	94			実績値								
達成率			139.5%	94.0%			達成率								
強化指定選手数(人)		目標値		6	8	9	9	33%	目標値						
		実績値		9	10				実績値						
		達成率		150.0%	125.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果
障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会等の参加者数(人)	目標値		3,569	8,300	8,300	8,300	a	パラリンピックに向けた機運醸成の一環として、障がい者スポーツ体験会等に多くの人が参加したことにより、障がい者スポーツの理解促進・普及や振興を図ることができた。
	実績値		5,013	7,562				
	達成率		140.5%	91.1%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>優秀選手の発掘</li> <li>実働可能な障がい者スポーツ指導者の拡充</li> <li>体験会後も継続してスポーツができる受け皿の整備</li> <li>情報発信の工夫</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツ体験会等を通じた優秀選手の発掘</li> <li>特別支援学校の教員やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの関係者に対する障がい者スポーツ研修会の開催</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	全国障害者芸術・文化祭開催準備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
	A			事業実施課(室)名	障害福祉課		施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	継続・見直し				評価者	事業推進課長 秋月 久美		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	平成30年度に「第18回全国障害者芸術・文化祭」の開催が決定し県内の障がいのある方の芸術活動へのより積極的な参加が求められるが、身近な地域で芸術活動に参加する場が少ない。 また、すぐれた作品が埋没し、県民に障害者芸術の魅力が伝わっていない。	事業の目的	「第18回全国障害者芸術・文化祭」の開催に向け「障がい者アート」の取組を多様な関係者と連携して積極的に支援するとともに、障がいのある方もない方も共に生きる社会の実現に向けたアート支援体制の構築を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①全国障害者芸術・文化祭のキックオフイベントの開催 国民文化祭キックオフイベントとの共同開催により、特別展「Action!」を開催し、広く県民に開催機運の醸成と障がい者アートに触れる機会の設定(11月11日～20日 芸術文化ゾーン)	①	2,829	総コスト		12,831	59,768
②障がい者芸術に関する人材育成事業 障がい者アートに関する障がい者福祉施設職員向けの人材育成セミナーの開催(11月)	②	836	事業費		4,831	19,768
③全国障害者芸術・文化祭企画運営委員会の設置 障がい福祉関係者や有識者等で構成される委員会において実施計画案等を協議(4回)	③	578	(うち一般財源)			9,884
④芸術性の高い作品の発掘調査事業 福祉施設等を対象に全国障害者・芸術文化祭に展示・発表できる作品等の発掘調査の実施(4回)	④	367	人件費		8,000	40,000
計		4,610	職員数(人)		0.80	4.00

活動指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	特別展「Action!」の観客数(人)		目標値		1,500	1,800	2,500	61%	全国障害者芸術・文化祭企画運営委員会の開催回数(回)	目標値		4	4	4	2	13%	
		実績値		1,471					実績値		4						
		達成率		98.1%					達成率		100.0%						
人材育成セミナーの参加者数(人)		目標値		30	40	80	18%	芸術性の高い作品の発掘調査実施回数(回)	目標値		4	4	4	4	8%		
		実績値		29					実績値		4						
		達成率		96.7%					達成率		100.0%						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
障がい者アート関連事業実施市町村数(市町村)	目標値			5	10	18	a	全国障害者芸術・文化祭では全国初となる、各市町村実行委員会による障がい者アート関連事業実施を推進し、各地域の障がい者が地元で作品展示や発表の場を増やし、障がい者芸術のすそ野を広げ、地域での障がい者アート支援体制の構築に寄与した。
	実績値			5				
	達成率			100.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の全国障害者芸術・文化祭開催に関する認知度の低さ</li> <li>障がい者芸術に係る展示会等の発表機会の少なさ</li> <li>障がい者アートに取り組む人及び活動をサポートする人の少なさ</li> </ul>	今後の事業方針 ・全国障害者芸術・文化祭の開催に向け、引き続き機運醸成を図るとともに、障がい者アートに対する県民理解の促進や創作活動に関する環境づくりを支援 ・県内全市町村において、障がい者アート関連事業を実施することにより、障がい者が身近な地域で芸術・文化活動に参加しやすい環境を整備				